

真言

発行 宗教法人大楽院

（真言宗豊山派）

代表役員 酒主 秀寛

三祖宝号（宗祖、中興祖、派祖）

「南無大師遍照金剛」

「南無興教大師」

「南無専誉僧正」をお唱えしましょう

墓参後は本堂でご本尊様にお手を合わせましょう

令和五年は

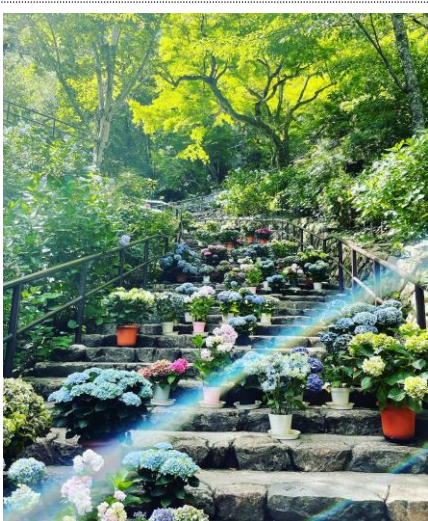
弘法大師御生誕千二百五十年です

宗派と総本山長谷寺では、令和四年六月十五日（令和五年十二月三十一日まで）を特別期間として本山参拝を勧めております。

当山でもこの期間内に登嶺し、改めてお大師さまとご縁を結ぶため、記念団参を行います。

日時 令和五年春予定（一泊二日）
行先 総本山長谷寺（奈良県桜井市）ほか
交通 航空機ほか
旅費 実費

参加を希望される方は、一月末までに住職または寺族へお申込みください。



総本山長谷寺団参（弘法大師ご生誕千二百五十年記念）

令和五年に予定している記念団参にさきがけて、六月二十九日・三十日、総本山長谷寺他にて檀信徒各位の安寧と衆生の福寿増長、檀中過去一切精霊の回向を祈念してまいりました。コロナ禍を鑑み、檀徒総代（希望者のみ）でのお参りとなったことをご理解ください。

【参拝先】長谷寺、室生寺、飛鳥寺、岡寺



弘法大師御生誕千二百五十年
総本山長谷寺記念参拝のご案内

令和四年 六月十五日から 令和五年 十二月三十一日まで

真言宗の祖である弘法大師は

宝亀五年六月十五日にお生まれになられ

令和五年には御生誕千二百五十年を迎えます

この慶ばしい記念の年を奉祝して

総本山長谷寺への参拝を推奨してまいります

期間中の参拝では

登嶺褒状・特別記念品を贈呈いたします

また特別仕様の日月牌契証・御祈禱札を

ご用意いたしました

この慶事にぜひご参拝いただきますよう

ご案内申し上げます

真言宗豊山派
総本山長谷寺



弘法大師御影堂



大楽院本堂内に稚児大師尊像をお祀りしております



大施餓鬼会並びに新盆供養会厳修

八月六日、当山恒例行事の大施餓鬼会が行われました。大楽院本堂にて三年ぶりに諸大徳様の御助法を賜り、新盆家、総代により執り行い、三十名の参加がありました。

住職導師のもと、三界萬霊、当山代々先師尊霊、檀中過去一切精霊、有縁無縁一切精霊、水子霊位、東日本大震災罹災者諸精霊、牛馬諸精霊、愛玩動物諸精霊、その他数多のほとけさま、新盆各霊のご供養を行いました。

群馬県邑楽支所による十三回忌法要

十月六日、群馬県邑楽支所諸大徳様による東日本大震災十三回忌法要が、本堂にて営まれました。

大楽院が震災当初、邑楽支所内実相寺様に避難し檀務を継続できたことのご縁により、三回忌、七回忌に続いての来山となりました。

本堂での慰霊法要と併せ研修会が行われ、当地域の現状及び課題等についての意見交換が行われました。



医王山興福寺大楽院 役員

代表役員

責任役員

総代

酒主 秀寛
芦口 一美
渡辺 勝康
箱崎 豊

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

代表役員

酒主 秀寛

芦口 一美

渡辺 勝康

箱崎 豊

小松 イク

會澤 節夫

猪狩 正久

渡辺 好男

高野 公雄

鈴木 恒男

草野 幹生

橋本 仁

草野 武夫

小松 岳生

草野 久

小野 治久

根本 正勝

新妻 孝

猪狩 芳樹

新妻 則彦

渡邊 幸生

猪狩 義榮

関谷 宗久

猪狩 一信

草野 和治

猪狩 三男

久保田 明

渡邊 良平

松本 公一

（敬称略・令和四年十月一日現在）

ゴミ（護美）の
持ち帰りをお願いします

墓地のまわりにゴミが
捨てられています。

片付けするところまで
が供養です。お墓参りの後
はきれいな気持ちでお帰
りください。

令和五年不動明王元朝護摩祈禱会実施要領

一期 日 令和五年一月一日（日・祝）午前八時

二会 場 大楽院護摩堂

三 お札申込 申込書または電話にて、十二月二十五日（期限厳守）まで

四 祈禱料 お札一体（小）三千円、（中）五千円、（大）一万円

願文はお札一体につき、二つまで可能です。 家内安全、交通安全、身体健全など

五 お札引渡 護摩堂にて一月一日以降随時

※祈禱会に来山される方が例年どおりですと、堂内が密な状態になることが予想されます。

各自マスクの着用等必要な対策をお願いいたします。また、窓を開けて換気を行うため、防寒対策をとりお出でください。



令和五年の恒例行事等について

元朝護摩祈禱会については、護摩堂にて一月一日（日）午前八時より行います。護摩札については事前にお申し込みをいただきます。ぜひ、来山のうえ諸願成就を御祈願ください。

大般若経六百巻転読会は、三月二十一日（春分の日）午前十時半より実施します。どなたでも参加できますので、ぜひ転読を体験してください。

大施餓鬼会及新盆供養会につきましては、八月六日（日）午前十時三分より新盆家、総代出席により行い、塔婆供養も併せて行います。

お施餓鬼（お盆）の塔婆は、祖霊のある全ての檀家分の建立といたします。護寺費（お寺の維持管理に充てるもの）については、檀家一律二千円となります。檀家のつとめとしてご理解、ご協力をお願いいたします。

お施餓鬼（お盆）の塔婆及び護寺費については次号で詳細をお知らせいたします。

尚、三月十二日に観音堂祈禱会（井出字西原）、八月十七日に立石不動尊堂護摩祈禱会、十一月二十三日に水子地蔵尊供養会を予定しております。

お盆、お彼岸にはたくさんのお参りがありました

お盆、お彼岸のお供えありがとうございます。お供えは、ご本尊さまに供えたのち、ほとけさまからのおさがりとして、ひとり親家庭や支援団体へ送らせていただきました。また、お盆十三日には、おてら体験のお子さんにお塔婆の受渡しなどをお手伝いいただきました。聞くところによると将来の夢は“お坊さん”だそうです。きっと貴重な一日になったはずです。



先人が苦勞を重ねて築いてきたおかげで現在の私たちがありますが、現在コロナや人間での争い、物価高など先が見えない不安で落ち着かない世情となっております。テレビをつけると、世界一安全な国であったはずの日本で犯罪や事件を耳にしない日はありません。これから私たちは、社会構造の変化などにより従来の考え方に加え、新しいものの見方を具える必要が出てきました。ひとは、「物」「心」ともに充たされていないと余裕がなくなり、余裕がなくなると、不安や嘆きにつながり正常な思考が持てなくなってしまうがちです。

落ち着かない日々が続いています。が、今一度自分を見つめなおし、一日を大切にそして無理なく過ごすことが大切と考えます。皆様お元気で。

合掌（秀寛）

おくやみ

総代顧問 渡邊 半男様

八月一日逝去されました。氏は総代として十三年つとめられ、退任後は総代顧問としてご指導をいただきました。

総代 渡邊 芳男様

七月十二日逝去されました。氏は六期十八年にわたり総代の職に就かれ、当山にお力添えをいただきました。また、水子地蔵尊供養会々長として供養を重ねてくださいました。

両氏の生前の当山への多大なご尽力に心より感謝するとともに、安らかに眠りいただきますようお願いいたします。合掌

寄進

一・浄財 令和四年新盆家各位

境内・墓地環境整備費に充当しました。

一・浄財

盆・彼岸等のお供えありがとうございました。

お供えは、内陣常花一对及び燭台一对の購入費に充てました。二年続けての大きな地震により倒壊等があったため、短いものに替えさせていただきました。



尚、寄進者のお名前は、本堂内に掲示しております。

町指定文化財立石不動尊堂（当山所有）修理工事進捗報告

不陸調整、鋼板屋根葺きが終了し、廻縁修復及び内陣修理が進んでおります。また、本尊不動明王像の修繕を併せて行っており、今年度中の完成を目指します。尚、八月十七日に氏子の皆様にて境内環境整備が行われました。ありがとうございました。



令和五年 年回表

一周忌	令和四年
三回忌	令和三年
七回忌	平成二十九年
十三回忌	平成二十三年
十七回忌	平成十九年
二十三回忌	平成十三年
二十七回忌	平成九年
三十三回忌	平成三年
三十七回忌	昭和六十二年
四十三回忌	昭和五十六年
四十七回忌	昭和五十二年
五十回忌	昭和四十九年
百回忌	大正十三年

追善供養は毎年行うのが本義です。ここには代表的な年回を掲載しました。供養の在り方について不明な点はご相談ください。

真言宗豊山派医王山興福寺大楽院

法務等のご相談は、下記までお願いします。

〒979-0603 福島県双葉郡楡葉町大字井出字谷地 6 5

電話 0240-25-2434

FAX 0240-25-4808

<https://dairakuin.net>

info@dairakuin.net

お寺の最新情報は、SNSで発信しております。

